

# 平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月13日

上場会社名 株式会社 ドミー

上場取引所 名

コード番号 9924 URL <http://www.domy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶川 志郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 都築 道明

TEL 0564-25-1121

四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	8,410	1.6	△55	—	△65	—	△49	—
21年5月期第1四半期	8,278	—	69	—	59	—	△70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	△3.68	—
21年5月期第1四半期	△5.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	18,813	3,207	17.0	236.69
21年5月期	18,930	3,316	17.5	244.73

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 3,207百万円 21年5月期 3,316百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	17,418	7.3	202	△9.9	153	△20.4	85	—	6.33
通期	34,492	5.2	467	11.7	372	8.3	206	168.6	15.21

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年5月期第1四半期	13,774,249株	21年5月期	13,774,249株
② 期末自己株式数	22年5月期第1四半期	223,914株	21年5月期	223,764株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年5月期第1四半期	13,550,388株	21年5月期第1四半期	13,555,688株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な景気後退の中、企業業績や雇用環境の悪化により個人消費が冷え込み、大変厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、食品を中心に地域に密着するスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持、信頼をいただけるよう安心して安全な商品を低価格で提供する取り組みと、お客様の来店頻度及び客単価のアップを図る施策を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の営業収益は84億10百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業損失は55百万円（前年同四半期は営業利益69百万円）、経常損失は65百万円（前年同四半期は経常利益59百万円）、四半期純損失は49百万円（前年同四半期は四半期純損失70百万円）となりました。

事業のセグメント別の状況は次のとおりであります。

（流通事業）

流通事業といたしましては、食品を中心に地域に密着するスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持、信頼をいただけるよう、営業企画として季節催事や、恒例となりました「木曜特売市」「日曜新鮮市」をさらに充実させるとともに、生鮮食品につきましては、岡崎加工センターを有効に活用することにより、安心安全を第一に味・鮮度にこだわった商品の充実に努めてまいりました。一般食品につきましても、特色のある「こだわり商品」の展開と、当社独自のプライベートブランド商品の開発を進め、消費者の節約志向に対応した戦略を推し進めました。寿司、惣菜部門を担当するドミーデリカにおきましても、品揃えの充実や味・品質・低価格の提供を追求し、店舗全体の集客力のアップに努めました。

店舗の状況につきましては、平成21年7月に蔵子店を開設、また同年6月に神野店、7月に豊川店を改装いたしました。

以上の結果、流通事業の営業収益は83億99百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

（サービス事業）

サービス事業におきましては、清掃業、保守業及び保険代理業等を営んでおり、効率的な店舗の清掃業務及び店舗設備の保守業務に努め、また、保険代理業務についても営業部門の充実と顧客の開拓に努めてまいりました。

以上の結果、サービス事業の営業収益は73百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円減少し、188億13百万円となりました。これは主に、現金及び預金58百万円、たな卸資産86百万円の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、156億6百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金56百万円、引当金のうち賞与引当金1億15百万円の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、1億8百万円減少し、32億7百万円となり、自己資本比率は17.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績につきましては、平成21年7月16日決算発表時の予測から変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

前第1四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めて表示しておりました投資有価証券評価損（前第1四半期連結累計期間 9,315千円）は、特別損失の100分の20を超えたため当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

前第1四半期連結累計期間において、営業活動のキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました投資有価証券評価損益（△は益）（前第1四半期連結累計期間 9,315千円）は、重要性が増したため当第1四半期連結累計期間より区分掲記しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,044,180	2,102,841
受取手形及び売掛金	28,780	35,780
商品	1,096,578	1,181,539
貯蔵品	23,839	25,103
その他	976,230	1,080,271
流動資産合計	4,169,609	4,425,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,829,070	4,757,779
土地	4,638,592	4,638,592
その他（純額）	636,196	572,361
有形固定資産合計	10,103,859	9,968,733
無形固定資産	641,735	616,815
投資その他の資産		
差入保証金	2,312,224	2,336,859
その他	1,553,046	1,547,833
投資その他の資産合計	3,865,270	3,884,692
固定資産合計	14,610,865	14,470,241
繰延資産	33,398	34,575
資産合計	18,813,872	18,930,353
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,185,278	3,241,420
短期借入金	3,450,000	3,350,000
未払法人税等	13,080	46,066
引当金	97,080	225,943
その他	1,943,123	2,034,322
流動負債合計	8,688,562	8,897,753
固定負債		
社債	2,062,200	2,026,600
長期借入金	3,061,715	2,924,059
退職給付引当金	598,082	600,310
役員退職慰労引当金	227,362	231,013
その他	968,665	934,439
固定負債合計	6,918,025	6,716,422
負債合計	15,606,588	15,614,175

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	841,545	841,545
資本剰余金	790,395	790,395
利益剰余金	1,697,661	1,815,236
自己株式	△108,807	△108,721
株主資本合計	3,220,793	3,338,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,916	△13,467
繰延ヘッジ損益	△8,592	△8,809
評価・換算差額等合計	△13,509	△22,276
純資産合計	3,207,284	3,316,177
負債純資産合計	18,813,872	18,930,353

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	8,028,492	8,162,539
売上原価	6,010,555	6,173,038
売上総利益	2,017,936	1,989,501
営業収入	250,294	248,106
営業総利益	2,268,230	2,237,607
販売費及び一般管理費	2,198,533	2,292,824
営業利益又は営業損失(△)	69,697	△55,217
営業外収益		
受取利息	2,853	2,661
受取配当金	8,824	8,557
持分法による投資利益	8,234	7,660
その他	18,467	21,059
営業外収益合計	38,380	39,939
営業外費用		
支払利息	38,198	40,352
その他	10,002	9,690
営業外費用合計	48,201	50,043
経常利益又は経常損失(△)	59,876	△65,321
特別利益		
受取保険金	4,000	—
特別利益合計	4,000	—
特別損失		
固定資産除却損	35,160	8,728
投資有価証券評価損	—	16,312
たな卸資産評価損	120,919	—
災害による損失	15,429	—
その他	9,315	—
特別損失合計	180,823	25,040
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,947	△90,362
法人税、住民税及び事業税	10,950	8,560
法人税等調整額	△57,310	△49,100
法人税等合計	△46,360	△40,540
四半期純損失(△)	△70,586	△49,822

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,947	△90,362
減価償却費	124,956	149,982
賞与引当金の増減額(△は減少)	△120,654	△115,936
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,500	△12,926
支払利息	38,198	40,352
持分法による投資損益(△は益)	△8,234	△7,660
固定資産除売却損益(△は益)	35,160	8,728
投資有価証券評価損益(△は益)	—	16,312
たな卸資産の増減額(△は増加)	292,237	86,225
未収消費税等の増減額(△は増加)	30,408	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,723	△56,141
その他	△45,572	80,713
小計	211,329	99,289
利息及び配当金の受取額	11,753	11,430
利息の支払額	△36,587	△40,730
法人税等の支払額	△33,618	△25,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,876	44,549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△180,818	△211,670
投資有価証券の取得による支出	—	△5,691
差入保証金の差入による支出	△2,226	△679
差入保証金の回収による収入	27,712	27,631
預り保証金の返還による支出	△10,494	△6,732
その他	△1,121	△27,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,948	△224,416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,750,000	3,050,000
短期借入金の返済による支出	△2,350,000	△2,950,000
長期借入れによる収入	400,000	470,000
長期借入金の返済による支出	△286,314	△299,210
社債の発行による収入	—	97,350
社債の償還による支出	△259,400	△164,400
配当金の支払額	△67,785	△67,752
その他	△1,356	△14,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,144	121,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	171,072	△58,660
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,504	1,622,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,658,576	1,564,180

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

	流通事業 (千円)	サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
営業収益	8,267,864	69,353	8,337,218	△58,431	8,278,786
営業利益	60,759	8,781	69,540	156	69,697

(注) 1 事業の区分は、提供する商品とサービスの販売形態により区分しております。

2 各区分の主な事業の内容

- (1) 流通事業・・・スーパーマーケット
- (2) サービス事業・・・清掃業、保守業、保険代理業

3 会計処理の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、流通事業の営業利益が86,886千円増加しております。

(2) リース取引に関する会計基準等

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

	流通事業 (千円)	サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
営業収益					
(1)外部顧客に対する 営業収益	8,398,719	11,926	8,410,645	—	8,410,645
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	553	61,348	61,901	(61,901)	—
計	8,399,272	73,274	8,472,547	(61,901)	8,410,645
営業利益又は営業損失(△)	△ 65,656	9,415	△ 56,241	1,024	△ 55,217

(注) 1 事業の区分は、提供する商品とサービスの販売形態により区分しております。

2 各区分の主な事業の内容

(1) 流通事業・・・スーパーマーケット

(2) サービス事業・・・清掃業、保守業、保険代理業

3 当第1四半期連結累計期間より営業収益の記載については、外部顧客に対する営業収益とセグメント間の内部営業収益又は振替高を区分して記載しております。

前第1四半期連結累計期間について、外部顧客に対する営業収益とセグメント間の内部営業収益又は振替高を区分して記載すると以下のようになります。

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

	流通事業 (千円)	サービス事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
営業収益					
(1)外部顧客に対する 営業収益	8,267,309	11,476	8,278,786	—	8,278,786
(2)セグメント間の内部営業 収益又は振替高	554	57,877	58,431	(58,431)	—
計	8,267,864	69,353	8,337,218	(58,431)	8,278,786
営業利益	60,759	8,781	69,540	156	69,697

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。